

## ■ 仙台塩釜港における課題と具体的な論点抽出

黒文字:明日の仙台塩釜港を考える懇談会で整理済みの論点

赤文字:地元自治体や団体からの要望・要請事項

緑文字:第1回長期構想委員会で各委員から指摘された論点

紫文字:現地視察を踏まえた論点(視察後の提出意見含む)

青文字:昨今の社会情勢・貨物量や港湾政策の動向を踏まえた論点

12 の 課 題	物流			防災・施設維持			環境		観光・交流			
	【課題①】 コンテナターミナルの取扱 機能の効率化・拡充に向け た取組	【課題②】 ユニットロード貨物・バル ク貨物取扱機能の効率化・ 拡充に向けた取組	【課題③】 労働者不足に対応する業 務効率化・生産性向上への 取組	【課題④】 国際戦略港湾の支援も 視野に入れた広域的な 防災港湾の体制強化	【課題⑤】 海面処分用地の 確保検討	【課題⑥】 港湾施設の老朽化へ の対応	【課題⑦】 災害時における船舶 と海路(輸送拠点・避難 など)の活用	【課題⑧】 温室効果ガス削減に向け たカーボンニュートラルへ の取組	【課題⑨】 海面環境の保 全	【課題⑩】 クルーズ船受入環境と インバウンドの促進	【課題⑪】 マリンレジャー の適正な推進	【課題⑫】 人流増加に向けた目 的地づくりの推進
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物流の2024年問題」や「脱炭素化」における対策としてモーダルシフトの進展への対応</li> <li>コロナ禍や地政学的リスクに伴うサプライチェーンの変化、減少した貨物量の回復への対応(戦略的ポートセールス)</li> <li>道路網の整備や鉄道などの広域交通・地域戦略との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物流の2024年問題」や「脱炭素化」における対策としてモーダルシフトの進展への対応</li> <li>取扱貨物の見直しも含めたターミナルの適正配置による港区間連携</li> <li>船舶大型化に対応した施設整備</li> <li>広域道路網の整備や鉄道などの広域交通・地域戦略との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働者不足に対応する業務効率化・生産性向上への取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際戦略港湾の支援も視野に入れた広域的な防災港湾の体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海面処分用地の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾施設の老朽化への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における船舶と海路(輸送拠点・避難など)の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス削減に向けたカーボンニュートラルへの取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海面環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズ船受入環境とインバウンドの促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マリンレジャーの適正な推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人流増加に向けた目的地づくりの推進</li> </ul>
仙台	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北経済を支える北米・東南アジアダイレクト航路の誘致(船舶の大型化に対応した施設整備・ポートセールス)</li> <li>内航フィーダー機能の拡充(京浜港との連携強化など)</li> <li>貨物量の増大を見据えたコンテナターミナルの更なる拡張、出入り渋滞緩和を含め、ターミナル内外の輸送効率化、高度化</li> <li>コールドチェーンや危険品の取扱いなどサービスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットロードの増加を踏まえたターミナルの集約・再編、利用の効率化・高度化</li> <li>モーダルシフト進展に伴うROROバスやフェリー貨物も含めた背後ヤードの不足への対応(土地造成や施設整備)</li> <li>点在する背後ヤードへの貨物移動の効率化(臨港道路を含めた見直し)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテナターミナルの自動化・AI化</li> <li>次世代高規格ユニットロードターミナルの整備</li> <li>貨物車両に対するスマートチェックインの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北広域港湾の枠組みに加え、首都圏港湾の被災も視野に入れた広域的な物流支援体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた開発空間において、沖合を含む更なる土地造成に向けた用地需要の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存岸壁の水深管理の徹底と、適切な水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害時における通常貨物利用と緊急物資利用の両面を踏まえた対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集積する製造業やエネルギー産業における脱炭素化の取組への支援</li> <li>製油所や発電所等における次世代エネルギーの受入供給動向に応じた港湾環境整備</li> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> <li>国際的な要請に対応したコンテナターミナルの優位性・信頼性確保(ターミナル内の脱炭素化推進やCNP認証の取得など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲生干潟の生態系の保全</li> <li>沖合展開や将来開発空間の活用における適切な環境配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流拠点における大型クルーズ船の寄港需要増加への対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなとオアシス・仙台港」を核とした観光交流機能の拡充</li> </ul>
塩釜	<ul style="list-style-type: none"> <li>減少した貨物量の回復に向けた港湾機能の強化</li> <li>機能配置転換によるバルクふ頭の再編</li> <li>利用貨物増大に向けた対策の推進</li> <li>既定計画の適切な推進(航路整備)</li> <li>仙台港区の補完港としての位置付けと水深・岸壁等の機能確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸壁の利用促進に向けた仮バースや給水等補給需要の増加への対応</li> <li>商業エリアと直結する地理的優位性を踏まえた、内航船員の休息利用への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなバース整備による大規模災害時の総合的な連携・補完機能の強化(バックアップバース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>港奥部における親水空間としての用地需要への対応</li> <li>物流・防災面での補完機能を担うための用地需要の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な維持浚渫による航路泊地水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>離島への緊急物資等の支援に対応した耐震施設の整備</li> <li>海上保安拠点として、巡視船が引き続き配備可能な基地機能の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油槽所等における次世代エネルギーの受入供給動向に応じた港湾環境整備</li> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別名勝松島における独自景観の保全</li> <li>航路整備における自然環境や景観への適切な配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅客ターミナルや松島観光船等の優位性を活かした小型クルーズ船の誘致港としての位置づけによる総合的なクルーズ受入体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の在港隻数や収容状況を踏まえた船だまり計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みなとオアシス・マリゲート塩釜」を核とした観光交流機能の拡充</li> <li>港奥部再開発による塩釜ペイエリアの活性化、経済的視点も含め市民・来訪者が親しみやすいにぎわいの拠点形成</li> <li>周辺基幹道路の計画を踏まえた臨港交通計画の見直し検討</li> </ul>	
松島					<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な維持浚渫による航路泊地水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の円滑な避難・帰宅支援への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別名勝松島における独自景観の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンドの増大に対応した観光サービスの向上(猛暑対策などを含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の在港隻数や収容状況を踏まえた船だまり計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パリアフリーに対応した観光棧橋の拡充</li> </ul>	
石巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型穀物船に対応したバルクふ頭の整備</li> <li>安全な荷役に資する港内静穏度の適切な確保</li> <li>道路網の整備や臨海鉄道など広域交通ネットワークと連携した貨物需要の創出</li> <li>点在する類似取扱品目の集約、新たな輸送方法の導入による背後利用の効率化・省力化</li> <li>需要予測を踏まえた背後用地の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強化岸壁の早期整備</li> <li>離半島地域を含む広域海上防災拠点港湾としての体制構築(命のみとネットワーク)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自港区のみならず、他港区や内陸公共残土の受入も踏まえた総量確保</li> <li>開発可能空間の利活用に対する新たな用地需要の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存岸壁についても利用船舶の大型化を踏まえた機能の確保</li> <li>計画的な維持浚渫による航路泊地水深の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強化岸壁の整備に加え、緊急物資の輸送・保管に対応した輸送路・空間の確保</li> <li>離半島地域を含む広域海上防災拠点港湾としての体制構築(命のみとネットワーク)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集積する製造業における脱炭素化の取組への支援</li> <li>次世代エネルギーの受入供給動向に応じた港湾環境整備</li> <li>藻場造成をはじめとしたブルーカーボンの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域観光への交通ネットワークの優位性を踏まえたクルーズ船の誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の在港隻数や収容状況を踏まえた船だまり計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内港地区における河川整備との整合性や水辺空間のにぎわい創出</li> </ul>			